

熊本大学役職関係者ヒアリングと映像記録作成

概要

実施日：2019年11月11日～2019年12月27日

対象者：9名

目的：熊本地震から3年半が経過した時点で、地震発生当時の熊本大学役職者に熊本地震を振り返ってもらい証言映像を録り、デジタルアーカイブで活用する資料映像を制作する。

ヒアリング内容

- ご自身の前震から本震、発災1週間後までの動きを振り返って
- 担当部署の被害と復旧、災害対応についてできたこと、できなかったこと
- 担当部署が発災時・復旧・復興の過程で社会的に果たした役割について
- 熊本地震から3年半が経過。この経験をこれからどう活かすか、役職を退く時の引継ぎをどのようにしたか。
- 熊本地震の記憶を後世に伝えるためのメッセージ

※インタビューは15分から30分程度で実施した。地震発生後からの対応した当時の状況思い出していただき、貴重な証言記録ができた。

映像記録の作成

ヒアリング映像記録およびボイスレコーダの文字起こしを行った。機器の設置場所次第では、聞き取り辛い所もあり時間を要したが映像を編集し、テロップ追加等を行い、15分程度の記録映像を仕上げた。



ヒアリングの様子

ヒアリング対象者とヒアリング内容一覧

| | 内容 | ヒアリング対象者 | 実施日 | 質問・ヒアリング内容等 |
|---|-------|---------------------------|----------|---|
| 1 | 大学全般 | 学長 原田信志 | 11/25(月) | 1～5 大学の被災と復旧、6 新入生向けにメッセージについて 場所：事務局2F応接室 |
| 2 | 復興支援 | 副学長、復興支援P副統括R 松本泰道 | 11/25(月) | 1,3,4,5 熊本復興支援7プロジェクト、特に産業復興プロジェクト 場所：事務局2F応接室 |
| 3 | 大学運営 | 前事務局長 前施設担当理事 下古場 泉 | 11/26(火) | 1,2,4,5 大学の被害と復旧、黒髪避難所、6 武夫原に看板設置の計画、熊本地震の記憶の伝達 場所：佐賀市学校法人旭学園小会議室 |
| 4 | 安全管理 | 環境安全センター 准教授 山口佳宏 | 12/3(火) | 1,2,4,5 被災時の安全対策、危険物薬品等の管理、発生当時の対応 場所：工学部共通D会議室 |
| 5 | 工学部全般 | 工学部長 宇佐川毅 | 12/27(金) | 1～5 工学部1号館の被害と復旧、安否確認システムの構築、6 工学部1号館に看板設置を計画、熊本地震の記憶の伝達 場所：工学部部長室 |
| 6 | 医学部全般 | 前医学部長 西村泰治 | 12/2(月) | 1～5 学部と大学院の対応 場所：医学部総合研究施設616室 |
| 7 | 大学病院 | 前附属病院長 水田博志 | 11/13(水) | 1～5 DMAT指定病院として熊本市市民病院から引き継いだ周産期医療災害医療研修会→文科省プログラム（人材育成） 場所：熊本市市民病院3F 応接室 |
| 8 | 図書館 | 図書館副課長 濱崎千雅 | 12/12(木) | 1～5 被災後の図書館の取組、熊本地震資料の蒐集、熊本地震に関連した企画展・講演会 場所：附属図書館南館 |
| 9 | 歴史建造物 | 五高記念館長 伊東龍一 | 11/11(月) | 1,2,4,5 五高記念館の被害と復旧、歴史的建造物の被害と復旧、6 五高記念館に看板設置を計画、熊本地震の記憶の伝達 場所：工学部1号館4階A425室 |